

地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院<川崎市立井田病院からのお知らせ>

# いだやま 第85号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、  
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

## 年頭のご挨拶 病院長 伊藤 大輔

明けましておめでとうございます。  
旧年中は格別のご厚情を賜わり、心より  
感謝申し上げます。

昨年令和6年は正月早々から能登半島  
地震・羽田空港の大事故とこれまで記憶  
にないほど衝撃的な年明けとなってしま  
いました。当院もDMAT隊をはじめ、看護  
師、事務職などの支援活動に参加いたし  
ました。まだまだ復興の道は遠く胸が痛  
むものがあります。

井田病院では日頃より健診から診断・治療・緩和ケア・在宅医療まで  
シームレスな医療提供体制を整え、地域に密着した温かい医療の提供を  
心掛けておりますが、近年は地域医療部と救急部の活躍が目覚ましいも  
のがあります。

昨年3月末に地域医療支援病院の認定を受けるなど今後もますます地  
域医療機関との連携を密に医療体制の充実に貢献していきたいと考えて  
おります。

定評のある呼吸器、腎臓、糖尿病、膠原病、乳腺外科、泌尿器科、整  
形外科などの領域に加えて消化器、循環器疾患に対する診療体制の強化  
が急速に進んでおります。内視鏡検査予約は即座に対応、骨密度検査も  
当日可能など迅速な対応を心掛けております。

今年もよろしくご支援のほどお願い申し上げます。



# 健診を受けましょう

特定健診は、生活習慣病のリスクがわかり、早期発見のために重要です。井田病院では他にもさまざまな検査や人間ドックが受けられますので、是非確認してみてください。

## 特定健診・こくほの健診・後期高齢者健康診査

- ・問診
- ・身体計測  
(身長、体重、腹囲)
- ・血圧
- ・血液検査  
(中性脂肪、コレステロール、肝機能、血糖)
- ・尿検査  
(尿糖、尿蛋白、尿潜血)

無料

## 川崎市がん検診 自己負担額あり※70歳以上、非課税世帯、生活保護の方は無料

項目	対象	自己負担額
胃がん検診	バリウム 40歳以上	年度に1回 2,500円
	内視鏡 (窓口予約) 50歳以上	2年度に1回 3,000円
肺がん検診	40歳以上	900円
大腸がん検診	40歳以上	700円
国民健康保険PSA検査 (男性のみ) 特定健診と同時受診	川崎市こくほの健診受診券をお持ちの50歳以上74歳以下の方	400円
子宮頸がん検診(女性のみ)	20歳以上	2年度に1回 1,000円
乳がん検診(女性のみ)横浜市も可	40歳以上	2年度に1回 1,000円
骨粗しょう症検診(女性のみ)	40・45・50・55・60・65・70歳	1,100円

健診のお問合せ・ご予約

【電話】044-766-2188 (代) 受付時間:平日午後1時～4時 【窓口】1階健診受付窓口 受付時間:平日午前8時30分～午後3時

# 市民公開講座のお知らせ 「不安やがん情報との上手な向き合い方」

川崎市内五か所の地域がん診療連携拠点病院と宮前図書館が連携して市民公開講座を開催いたします。

今年度は、テレビや雑誌でお馴染みの若尾文彦先生(国立がん研究センター医師、がん対策情報センター本部 副本部長)にご講演いただけることになりました。当日は、がん相談支援センター相談員(医療ソーシャルワーカー・看護師)による講演や個別相談会もあります。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2025年2月9日(日) 13:30～15:30

場所 宮前市民館大会議室  
(宮前文化センター1階)

参加申し込みはこちら



個別相談会 + 講演 + 関連本の紹介

市民公開講座  
がん相談支援センター × 宮前図書館

## 不安やがん情報との上手な向き合い方



講師 若尾文彦 先生  
国立がん研究センター医師  
がん相談支援センター本部 副本部長

2025年  
**2/9**(日)  
13:30～15:30 宮前市民館大会議室  
(13:00 開場) (宮前文化センター1階)

対象 どなたでも 定員 120名 申込 無料  
(受付開始12/19～)

当日は川崎市内にある5か所の地域がん診療連携拠点病院の  
がん相談支援センター相談員(医療ソーシャルワーカー・看護師)による  
講演や個別相談会もあります。

締切 1/27 要申込 参加お申し込み二次元バーコード

二次元バーコードの利用が難しい方は、以下にお電話ください。

お問い合わせ◎川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室 ☎044-200-3801  
主催 神奈川県がん診療連携協議会 相談支援部会 川崎市広域ワーキング  
共催 川崎市  
市内5か所の地域がん診療連携拠点病院: 新百合ヶ丘総合病院、聖隷聖医院、聖隷湘南病院、川崎市立川崎病院、川崎市立津田病院

文責：地域医療部



## 病院食で市内産野菜の ブロッコリーを提供しました

食養科では、12月19日に今年度3回目となる市内産農作物を提供しました。昨年に引き続き今が旬のブロッコリーでごま酢和え（消化の良い食種ではおかか和え）にしました。ごまとお酢の風味で減塩に、茎の部分も使って食品ロスの削減に取り組みました。茎の部分は食物繊維が多く含まれており、ビタミンCやβカロテンなども普段よく食べられるつぼみの部分より多く含まれています。



そんなブロッコリーですが出荷量も年々増加しており、20年で倍となっています。2026年度からは指定野菜（国が安定した供給が必要と認めた野菜）となるため、価格の安定化が期待されます。アンケートでは「茎もおいしかった。」「自分の住んでいる周りで、このようなものが作られているのを感じ取れて良かった。」など、沢山のご意見をいただきました。食材料費が高騰していますがうまくやりくりをしながら定期的に市内産農作物の提供をしていきたいと思えます。

文責：食養科 亀山

## 消防訓練を実施しました

当院は令和4年7月1日付けで神奈川県の大規模病院に認定されました。災害発生時に備え、消防訓練や災害医療訓練を行っています。今年度は令和6年11月14日（木）に、1回目の消防訓練を、別館で7年振りに実施しました。

今回は、「地震及びこれに起因する火災が発生し、通常使用する避難経路が使用できなくなったため他の経路で避難せざるを得なくなった」という想定で訓練を実施し、複数の経路が避難経路として有効かを検証しました。



さらに、避難誘導については、寝たきりの患者様を避難させることに重点を置き、エアーストレッチャーとストレッチャーを用いた搬送訓練に特化しました。経路については、実際にたどってみることで、特徴や問題点等を確認することができました。エアーストレッチャーについては、所属や職種によって普段の使用に係る状況が大きく異なっており、使用方法の確認や練習の必要性を再認識することができました。

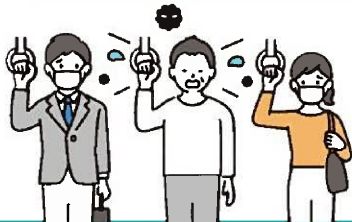
能登半島沖地震の発生から1年が経過しました。関東圏でも災害がいつ起こるか分かりません。訓練だけでなく、通常業務の中でも、常に備えを確認しましょう。

文責：災害時医療運営委員会

## インフルエンザ・ノロウイルスに注意しましょう

寒さが厳しく、空気が乾燥する今の季節は、インフルエンザなどの呼吸器感染症や、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎のほか、様々な感染症が流行します。低温・低湿度を好むウイルスにとって冬は最適な環境です。空気の乾燥でウイルスの水分が蒸発して比重が軽くなるため、空気中に浮遊して伝播しやすくなります。また、私たちのからだは、寒さのため、体温が低くなり代謝機能が低下すると免疫力も低下してしまいます。ウイルスの侵入を防いでいる鼻やのどの粘膜が乾燥により傷み、感染が起こりやすくなってしまいます。流行期には人混みは避け、マスクの装着、こまめな手洗い・手指消毒などの他、ご自身の体調を整えることが大切です。体調を整えるためには、規則正しい生活リズム、バランスのよい食事、適度な運動（体を動かすこと）が重要です。 文責：感染対策室

インフルエンザは、発熱（38℃以上）、頭痛、咳、咽頭痛、鼻水、筋肉痛、関節痛などを呈します。感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれる病原体を吸い込むことで感染し、通常の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。



ノロウイルスに汚染された生牡蠣からの感染がよく知られていますが、感染者の嘔吐物や下痢便を介しても感染します。突発的な嘔吐、下痢、発熱を起こし、数日で回復しますが、高齢者や乳幼児は重症化することがあります。感染力が非常に強く、感染者の嘔吐物や下痢便の適切な処理が重要です。

糖尿病  
なんでも  
Q&A

### 糖尿病について気になることを なんでも質問してみませんか？

糖尿病について聞きたいけど外来でなかなか聞けない、聞く時間や機会がない…  
そんなお悩みにお応えできるよう、井田病院ホームページに「糖尿病なんでもQ&A」を設けました。是非利用してみてください！

井田病院ホームページ →



### — 美化活動を実施しました —



令和6年12月4日（水）に美化活動を実施しました。多職種の職員が参加し、病院敷地内から周辺の道路まで清掃し、落ち葉や空き缶などをたくさん拾い集めました。

### EV用充電器が設置されました

令和6年12月から、川崎市における電気自動車及び充電器の普及促進に向けた取組の一環として、井田病院駐車場内（出口付近）でテラチャージEV用充電器の運用を開始しました。



発行責任者 田中 良典  
川崎市中原区井田2-27-1

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会  
電話 044-766-2188（代表）